

## 【日本ヘルスケア産業協議会】

### OTC・漢方医薬品推進部会

#### (1) 目的、進め方

超高齢社会、少子化時代に対応した OTC 薬・漢方薬（以下、「OTC 薬等」）のあるべき役割を考察し、国民が求める OTC 薬等の普及推進を図る。

進め方は、日本ヘルスケア協会の利点を活用し、広く経済界、消費者団体等とのインタビュー、部会でのヒアリング等を通し、国民の安心・安全を担保し、かつ OTC 薬等の振興を図るための政策提言を日本ヘルスケア協会に建議し、本部会の目的を達成する。

現在、OTC 薬等の市場は規制緩和、人口減少などの影響を受けて、漸減傾向を示している。超高齢社会を迎え、誰もが健康との関わりが不可欠な時代になっている。OTC 薬等も時代の変化に対応した役割が求められるが、それに対応するためには制度、法的な問題も含めて、国家的な課題として進めて行かなければならない。

世界に冠たるわが国の公的医療・介護保険制度を安定的に持続させ、すべての国民がいつでも、どこでも安心して医師等の最先端の治療を低価格（負担）で受けられる制度を継続するために、OTC 薬等の果たすべき新たな役割を再構築し、医師等と連携しながら定着させる必要がある。

#### (2) ヘルスケア業界の皆様へのメッセージ

超高齢者時代に対応した体外検査薬等も含めた新しい OTC 薬等の役割を再構築し、その普及推進に関心のある多くの方々のご参加をお待ちしている。日本ヘルスケア協会を活用しながら、OTC 薬等の普及推進のための制度的な改正を踏まえて、医師等、医療従事者の理解を得ながら対応を図っていく予定である。